

VOL.129

農協からのお便り

12
2018

グリーン
GREEN
地域と農業をむすぶJA広報誌

今月の表紙

平成30年度北海道枝肉共励会
交雑牛の部 『優良賞』を受賞



TOPICS

- ・特集 農協の挑戦～
- ・第29回JA北海道大会
- ・第10回上川町麺まつり

他

(畜)グリーンサポート
畜産部のみなさん



(主な経営内容)

水稲作付面積 12.3ha
 大豆 0.7ha
 野菜なんでも！

Q 理事に就任され7ヶ月が経ちましたが今のお気持ちをお聞かせください？

A まだ、不安な気持ちの方が強くて「自分が理事で良いのか？」と悩むときもありますが、地区や組合員から選任されている以上、一生懸命に務めていきたいと思っています。

Q 木村常務のインタビューで役職員の意識改革やマンネリ化について「組合員や住民目線に立った自己点検を実施・・・」とお話がありましたが、何か気づいた事があれば教えてください。

A 農協を存続させていくために、コスト低減・不採算部門の合理化・合併なども必要だと感じますが、小規模農家から大規模農家まで分け隔てなく、農家を守り存続させる事も農協存続の力になると思います。

Q あなたが思うJAのあるべき姿をお聞かせください？

A 役職員が組合員を、組合員が役職員の声に寄り添い行動し思いやる事が大切だと思います。

Q あなたが今、農業でチャレンジしている事を教えてください？

A 農作物の品質向上ですネ！
 もちろん収量もUP出来れば良いのですが、より良い物作りに力を入れています。

Q 若い農業者や農業後継者に期待する事を教えてください？

A 地域交流を大事にして情報交換をし、農業経営に必要な情報を集め行動し、立派な農業者になってほしいです。

Q あなたのプライベートで、今一番楽しみにしている事を一つ教えてください。

A 今一番楽しみな事は、趣味の一つのスキーですネ！
 スキーチームの仲間が大会で活躍しているので、仲間がもっと上位に上られるように応援したいと思っています。

「〇〇の挑戦～」として農業者・役職員などを紹介、次回は、松岡理事を予定しています。

特集

～農協の挑戦～

理事

昔農昌人

おたずねします。

今、農協が変わらなければいけない事は？

挑戦しなければいけない事は？



プロフィール

昭和50年1月24日（満43歳）

S50 昔農家の三男として生まれる

H7 北海道立農業大学校

稲作経営専攻科卒業

H8 愛別町農業協同組合きのご課
臨時職員

H9 愛別土地改良事業所へ出向
（～H16）

（金富地区の整備事業に携わる）

H16 就農

趣味 ドライブ・スキー



購読のお勧め

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS

日本農業新聞

読んで役に立つ！おもしろい！紙面を紹介します。

●購読のお申し込みについて

1ヶ月 2,520円（税込み）

※お近くの新聞販売店からお届けします。

お申込み先：地域振興係（本所：Tel6-5315・支所Tel2-1113）

北海道550万人と共に創る...

第29回 JA北海道大会!!

11/13

JAグループ



3年に1度開催される、JA北海道大会が、第29回を向かえ「北海道550万人と共に創る「強い農業」と「豊かな魅力ある農村」をテーマに、札幌コンベンションセンターで開催され、当組合からは全役員並びに両地区の女性部長の17名で参加しました。

当日は、全道のJA（役員・女性役員・青年役員）や連合会から約2,400名が参加し、大ホールが農業関係者で一杯となりました。

司会は『あぐり王国北海道NEXT』に出演する、HBC北海道のアナウンサー『森結有花』さんが、大会終了まで務めました。

大会開催前には、あぐり王国北海道NEXTの放送500回記念プレゼンテーションが実施され、映像による番組の歴史を紹介し、後半には番組開始からホストを務める、TEAM・NACSのリーダー『森崎博之』さんが登場。

番組の中で様々な農業に触れたことをもとに、農業に対する熱き思いを語っていただきました。

パネルディスカッションでは、

北海道大教授の宮入コーディネーター進行のもと、中央会の小野寺副会長を始め、農林中央総合研究所の行友顧問・日本協同組合連携機構の青竹常務理事による討論会が実施されました。

大会で

は、北海道胆振東部地震で被災された方に対し黙祷を捧げ、飛田会長が大会実行委員長として挨拶、来賓では、北海道の高橋知事その他、2名の来賓より祝辞をいただきました。



議長にはJAからの植崎組合長が選任され、ホクレン内田会長による議案説明に続き、JA代表並びに青年部・女性部より意見表明がなされた後に、大会決議・特別決議が採択され、無事閉会となりました。

両女性部長は大会当日、役員は視察研修も併せての実施であり、大変お疲れ様でした。

平成33年に「第30回大会」が開催される予定となっており、大会議案の実現に向け対応して参りますので、組合員の皆様のご理解・ご協力をお願い致します。大会議案は、次の2議案となっております。

議案第1号：協同の力で「農業所得の増大」と「多様な担い手の確保・育成」を実現

議案第2号：次代につなげる協同組合の価値と実践



仲間づくりと学習を通じた次世代リーダーの育成… 11/8～9 第54回 JA北海道女性大会に参加!! 女性部



シャトレーゼ・ガトーキングダム札幌において、2日間の日程で開催されたJA北海道女性大会・北海道家の光大会に、愛別支部からは藤村部長、柴田部員、上川支部からは辰巳部長、石山副部長、阪本監事の5名が出席しました。

辰巳部長は北海道女性協議会の副会長も務められているため、1日目の総合司会を担当いたしました。



1日目の家の光大会では「家の光記事活用体験発表」が行なわれ、どの女性部も部員不足に悩まされながらも家の光誌などを活用した仲間集めや、日頃より楽しく活動をされている内容が発表されました。

2日目は女性大会が行なわれ、「仲間づくりと学習を通じた次世代リーダーの育成について」と題して、意見交換が行なわれ、女性部活動で普段から抱えている悩みや疑問点など様々な意見を聞けて大変参考になりました。

最後に出席者全員でJA女性部員としての申し合わせを行い大会は終了しました。

楽しい+食べるをつなげた新しい野菜の楽しみ方… 11/6 JA女性部Bブロック研修会に参加 女性部



美瑛町でJA上川地区女性部Bブロック研修会が開催され、当女性部より愛別支部から25名、上川支部から23名の部員が参加しました。

今年度はJAびえい女性部が当番で、野菜ソムリエプロ・ベジフルフラワーアーティストでプロフェッサーの木田靖代さんを講師に、午前中の講演では「野菜・果物の新しい楽しみ方〜ベジフルフラワー〜」と題して、野菜や果物でブーケやおブジエ作りを楽しみ、さらに制作した野菜で調理



をする「楽しい+食べるをつなげた新しい野菜の楽しみ方」が紹介されました。

午後からは実際に普段食べている長ネギなどの野菜を使ったブーケを自分で作成し、ベジフルフラワーの魅力を実験しました。

収穫に感謝・来年の出来秋を期待して…

収穫感謝祭(JA青年部・フレッシュミズ)

10/30
合同

JA青年部とフレッシュミズが合同で収穫感謝祭を上川町の「食事処あかし」で開催しました。

その年の収穫に感謝するこのイベントは各部署と一緒にお子さん達も参加、又各関係機関からも沢山の方々のご出席をいただきました。

今年は、夏場の異常気象や大地震、他にも地震で発生したブラックアウトによる全道規模の長時間停電など、天災被害が多かったが、終始和やかな雰囲気の中で、来年の出来秋を期待し懇親を深めました。



【チョット一言】

日本の祝日の一つ「勤労を尊び、生産を祝い、国民がたがい感謝しあう日」が「勤労感謝の日」です。

もともと日本は農業中心の国で、同じ季節頃の祭日に「新嘗祭」(にいなめさい)があり、天皇が神様に豊作を伝え、自らも収穫物を食してその年の収穫に感謝をする日本の歴史ある祭りの一つでした。

日本敗戦後、国家神道の色が強い「新嘗祭」という名前の祭日を排除し、違つ名前の祝日にするよう提案があり、米国の祝日「労働者の日」・「感謝祭」を合わせ、日本語訳したものが「勤労感謝の日」と言われています。

JAグループ通信

ホクレン



北海道の味覚を一堂に集めた毎年恒例秋のイベント「2018第47回ホクレン大収穫祭」を札幌三越本館で開催しました。今年はJA北海道女性協議会の「私の心を込めた農畜産物おむすび！」とJA北海道農協青年部協議会の「農業クイズ」などの生産者参加イベントも行われ、大収穫祭を盛り上げ、連日、どの売り場も秋の味覚を求める人々で大盛況でした。

JA北海道信連



9月に、札幌市において、小学生が社会の仕組みを学ぶ職業体験イベント「ミニさつぼろ」が開催され、JAバンク北海道では金融機関という役割で参加しました。

JAバンクでは、お金の数え方の練習やお仕事体験した子へお給料を支払う仕事を体験してもらい、中には「お金持ちになつたみたい」とお札の束を広げる子も…。

未来のサポーターづくりへ、来年以降も参加していきたいと思えます。



JA共済連北海道



10月27日(土)にANAクラウンプラザホテル札幌にて、第45回目となる「平成30年度JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール」の表彰式を開催しました。全道より4,342点の応募をいただいた中から金賞9作品が選出され、受賞されたみなさんが表彰されました。

今回受賞された作品は、さつぼろ雪まつり会場・道庁ホールでの展示等が予定されております。



JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介、各団体の詳しい内容はWEBサイトをご覧ください。

『新そば』と溪谷味豚を使った『味豚ラーメン』を楽しむ…
第10回上川町麺まつり開催

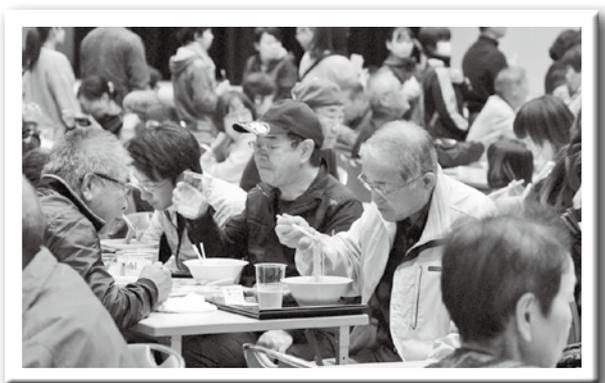
10/25
 上川町



上川町商工会主催の第10回上川町麺まつりが町民文化祭協賛事業としてかみんぐホール（上川町）で開催されました。

当日は、上川町産『大雪そば』を使った「新そば」限定250杯と、溪谷・味豚で取ったスープとチャーシューが楽しめる「味豚ラーメン」限定450杯の他に、溪谷味豚丼・味豚バーガーなど商店街の方々による、地域の食材にこだわった商品が揃いました。

どれも美味しく、多くの町民で賑わっていました。



正職員→臨時職員

奥 智 尚

内部監査室長
 (12月1日付)
 ※11月30日定年退職

大変お世話になりました

緑川 恵子

総務部 総務課総務係
 (11月30日付)

寄付を頂きました

服部 光 幸 様

上川町日東において農業を営まれておりました、故 服部善光様・フサノ様のご意志によるご寄付を頂戴いたしました。

役職員一同お礼を申し上げます。

貴重なご寄付は、今後の組合運営に役立てて参ります。

故人のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご家族のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

するーライフ 2章

「石垣の里～それでも石を積みつづける」

平成28年4月14日21時26分最大震度6強熊本地震発生。そして平成30年9月6日3時7分北海道胆振東部地震が発生した。

震度階数で最も高い震度7の規模は北海道では初めての観測だった。今なお双方の地域ではその復興の槌音が響く。住民が元の生活に戻るためにはかなりの時間を要す。自然の持つ破壊力は人の持つそれとは余りにも懸離れている。この国の北から南へは火山帯が幾重にも走っている。今更のようにそのことに驚かされる。その自然の威力と脅威に、更に最近台風・集中豪雨の猛威も襲い掛かる。飽和状態の水は山肌をざっくりと削り落とし、濁流となって里の宝を破壊する。テレビのニュース画面はそれを大写しにする。



各地の復興がまだ道半ばのこの時期に『それでも石を積みつづける』というドキュメンタリー番組を見た。ひとりの土木工学を学んだ若者の奮闘記である。急な斜面に建つ家々や段々畑の田畑、それ等を護るように「石積み」集落がある。現在その「石積み」の知恵と腕をもった職人は全国でも数えるほどである。若者は一生をかけて技術を極めようと、会社を辞め徳島県へ単身移住した。

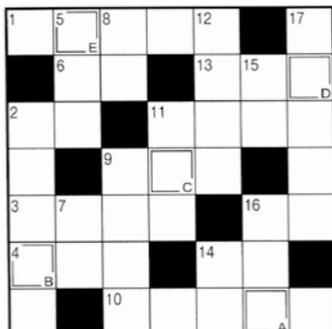
画面では東京に住む妊娠中の彼女を訪ねるシーンも紹介された。彼女は《自分の夢を追って努力する彼を応援したい》と輝いた瞳で語っていた。番組でも短く紹介され、私も初めて見た光景がある。若者も目にして感動したことであろう、愛媛県南部に位置する愛南町外泊は、「石垣の里」として親しまれている。

国内でもここまで頑丈で荘厳な石垣に護られた集落はない。江戸時代の後期、人口が増加した隣の中泊地区で「分家移住」が提案された。家督を継がない次男三男を対象に募集し、谷を埋めて水路とし屋敷の造成が行われ全戸が入居を完了した。集落はいつしか外洋からの強い風や台風そして塩害などから家屋を護るため、築き上げられた「石垣」群の集落となったという。明治12年頃だった。その途方もない数の石を人の手でひとつずつ積上げたのだ。その労力とそれに要したであろう気の遠くなるような時間に、この集落は護られたのである。その思いはどこから生まれたのだろうか。

家族を、家を守るため、その一心だったのか。「ただ、石を積み重ねる」その作業を淡々と繰返したただけなのか。平成の今、ひとりの若者が歩き出した。老齢の師匠から受け継いだ技術を子供達にも集落にも伝授しなければとその輪は広がっている。熊本城の城壁修復とは違った角度から、「石積み」を見詰め直した若者がいた。余分な水は石垣の隙間から吐き出され、間隙を四季の風は吹き抜けて行く。コンクリート壁にはない自然と共存するこの知恵は、暖かな美しい日本の集落の原風景を作り上げた。四国の蜜柑農家から若者へ「石積み」の依頼があった。先祖も経験したことがない集中豪雨のため、決壊した石垣の修復の依頼だった。先人が産み出した技術を習得伝授すべく、長い道程が始まった。家族として生計を立てることの心配などが決断を遅らしたが、「石を積む」ことへの迷いが消えた。

「目撃! にっぽん 10月28日」より

パズル? 頭の体操



タテのカギ

- 2 磐梯山の南側にある一湖
- 5 タマチヤとも呼ばれる野菜
- 7 建物の壁を覆うこともある植物
- 8 悪の反対語
- 9 歳末大売り出しの——で2等が当たった
- 11 陰暦12月の異称
- 12 自動車の荷物を入れるところ
- 14 洗濯物をぶら下げます
- 15 棋士が打つもの
- 16 壁に巻いてバックルで留めます
- 17 賛成する人が多い意見を採用すること

ヨコのカギ

- 1 サンタさんが靴下に入れてくれるかも
- 2 腰を掛ける家具
- 3 自動車を洗ってからかけます
- 4 ブームが去った状態です
- 6 牛や豚などの舌の肉
- 9 15歳が志学、30歳が而立(じりつ)な40歳は
- 10 肉や魚を截断したときに出る余りのところ
- 11 赤——だから青になるまで待とう
- 13 カレー—— ハヤシ——
- 14 地獄谷にいるものは温泉に入ります
- 16 それとこれとは話が——だよ

パズル? 頭の体操

先月号の答え



解答 A B C D E
パンシュウ

『優良賞』おめでとうございます

北海道枝肉共励会「交雑種の部」に出品

10/6
上川地区

は何れも素晴らしい枝肉で、年々全体レベルが向上する中での入賞は、今後に弾みがつく結果となりました。



左上:笠松さん・藤井さん・庄司さん
左下:古関さん・小野寺さん

牛（交雑牛の部65頭・乳雄牛の部63頭）の肉質の良さを競いました。

審査（格付け）は「歩留等級」と「肉質等級」の総合評価で行われます。「歩留等級」は牛1頭から取れる肉の割合を表し「A〜C」で評価され、Aが最も良い等級となります。また「肉質等級」は脂肪交雑（赤身の肉にどれだけサシ（霜降り）が入っているか）・肉の色・キメや締まり・脂肪の色と光沢など総合値を表し「1〜5」で評価され、5が最も良い等級となります。

審査の結果、グリーンサポート（上川地区）の出品牛が（B4ランク、枝肉重量57.1kg）の評価で、交雑牛の部「優良賞」を受賞しました。



ホクレン主催の平成30年度北海道枝肉共励会（交雑牛の部・乳雄牛の部）が、(株)北海道畜産公社道東事業所（帯広市）で開催されました。

当JAからは交雑牛の部に2頭を出品、道内各地から選ばれた

『最優秀賞』おめでとうございます

第15回北海道きのこ品評会に出品

11/6
愛別地区

北海道きのこ生産・消費振興会が主催する第15回北海道きのこ品評会が、札幌市中央卸売市場で開催されました。

この品評会は、全道各地で栽培されているきのこの栽培技術の向上と、良質で安全・安心な道産きのこの消費拡大を目的に毎年開催されています。

品評会は、4部門に分かれ「粒ぞろい・水分・鮮度・色調・形状など」を総合的に審査、今年は全部で92点のきのこが出品される中、当JA出品のきのこが見事に最優秀賞全て（三賞）を受賞しました。

翌日には、第7回北海道きのこフェスティバルが札幌市（チカホ）で開催され、きのこ・山菜等の産地直売の他、品評会入賞きのこの展示や、きのこセミナーなども行われ、地元北海道産きのこを仲間と共にPR販売しました。



品評会の結果は次のとおりです。

【その他のきのこの部】

◎最優秀賞

○林野庁長官賞 (有)遠藤農産(舞茸)

○北海道知事賞 (株)矢部きのこ園(舞茸)

○日本特用林産振興会長賞 (農)ヒット(えのきたけ)

【原木生しいたけの部】

○優良賞

○北海道きのこ生産消費振興会長賞 (株)北海道富士

お知らせ 組合員資格の確認について

平素より、当組合の事業運営にご理解・ご協力・ご利用を賜り厚くお礼申し上げます。さて、平成23年2月に「農業協同組合等向けの総合的な監督指針」が施行され、組合員の資格確認が必須となり、併せて当組合の定款第15条（資格変動の申出）により組合員資格に変動等があった場合は、その旨を届けていただくこととなっております。

つきましては、組合員資格区分・住所・氏名・勤務地等に変更・修正があった場合は、お手数ではございますが当組合本所または支所にて手続きをお願い申し上げます。

なお、当組合の地区内とは、愛別町・上川町の区域となっており、組合員資格はつぎのとおりとなっております。

正組合員資格

- 1 50アール以上の土地を耕作する農民で、その耕作する土地又は住所がこの組合の地区内にあるもの
- 2 1年のうち90日以上農業に従事する農民で、その住所がこの組合の地区内にあるもの
- 3 農業を営む法人（その常時使用する従業員の数が300人を超え、かつ、その資本の額又は出資の総額が3億円を超える法人を除く。）であって、その事務所又はその経営に係る土地がこの組合の地区内にあるもの

※農用地利用改善事業実施団体の構成員に係る組合員資格の特例

農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用改善事業実施団体の構成員であるもののうち、当該利用権の設定前に又は設定後遅滞なくこの組合に申出をし、理事会において確認を受けたものは、引き続きこの組合の正組合員とする。

准組合員資格

- 1 当組合の地区内に住所があり、当組合の事業を利用することが適当と認められる個人
- 2 勤務地が当組合の地区内にあり、資金の借入、貯金・定期積金、生産資材・生活物資の購入、共済加入のいずれかを1年以上継続利用する個人
- 3 住所が当組合の地区外にあり、生産資材・生活物資の購入、生産する物資の運搬・加工・貯蔵・販売又は特定農地貸付のいずれかを1年以上継続利用する個人
- 4 この組合の地区の全部又は一部を地区とする農業協同組合
- 5 農用地利用改善事業を行う団体であって、この組合の施設を利用することが適当であると認められるもの
- 6 農事組合法人等この組合の地区内に住所を有する団体であって、この組合の施設を利用することが適当であると認められるもの

加入内容に変更のあった方は申し出が必要となりますので、本人確認が出来る公的書類（住民票・運転免許証・健康保険証等）・印鑑を持参の上、本所または支所総務係までお越し頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

<<問い合わせ先>>

上川中央農業協同組合 本所総務係 01658-6-5311
支所管理係 01658-2-1111



JAのあゆみ 11月

- 1日 常勤理事研修(〜2日 カレッジ)
- 6日 JA女性部Bブロック研修会(美瑛)
- 6日 新任監事研修(〜9日 カレッジ)
- 15日 第15回北海道きのこ品評会(札幌)
- 7日 愛農機連役員会
- 7日 第7回北海道きのこフェスティバル(札幌)
- 8日 JA北海道女性リーダー研修・北海道家の光大会(札幌)
- 9日 愛別町野菜振興協議会役員会
- 12日 JA役員視察研修(〜14日 札幌)
- 13日 第29回JA北海道大会(札幌)
- 15日 JA上川地区青年部大会(旭川)
- 16日 コープさっぽろ農業賞の集い(札幌)
- 19日 上川地区農協監事協議会道外視察研修(〜22日 開東)
- 20日 JA女性部上川支部道外視察(〜21日 開東)
- 20日 新任理事研修(〜22日 カレッジ)
- 26日 北海道もち米団地農協連絡協議会道外研修(〜22日 開東)
- 26日 JA青年部視察研修(〜22日)
- 26日 愛別町青色申告会講演会(〜27日 旭川)
- 29日 内部審査協議会審査(〜30日 購買部)
- 29日 第10回定例理事会
- 29日 コンプライアンス研修会

組合員のうごき

(平成30年10月25日現在)

総組合員数	2,394名
正組合員数	538名
うち団体数	34団体
准組合員数	1,856名
うち団体数	64団体

第9回定例理事会

平成30年10月25日開催

■報告事項

- 1 組合員の脱退について
7名の脱退について報告した。
- 2 要領の制定並びに部改正について
制定1件・改正1件の内容を報告した。

■議事

- 1 組合員の加入報告並びに組合員資格について
9名の新規加入が承認された。
- 2 組合員の相続並びに譲渡について
3件の相続並びに譲渡について承認された。
- 3 組合員の出資減額について
2件の出資減額について承認された。
- 4 平成30年度産馬鈴薯概算金による仮渡金について
生産量に対する仮渡金について承認された。
- 5 固定資産の売却について
上川町の山林売却について、審議の結果承認された。
- 6 規程類の部改正について
4件の改正内容を説明し、承認された。
- 7 理事に対する貸付金の融資について
2名の理事に対する融資案件について、審議の結果承認された。
- 8 農事組合活動助成金等の支給基準について
活動助成並びに贈答の基準単価について承認された。
- 9 行政に対する要望意見書について
平成31年度の愛別町・上川町に対する要望内容を協議し、承認された。

第3回臨時理事会

平成30年10月29日開催

■議事

- 1 長雨日照不足等によるJA対策について
水稲並刈り等の出荷契約金に対する回収日延長について、協議した結果承認された。



変わるJA 広がる地域のきずな

変わるJA 広がる地域のきずな

監修=広島大学 助教 小林元

Q. JAは未来へ食と農をつないでいくために何をしているの？

A. 地域農業の活性化はもちろん、食や農への理解醸成に努めています。

JAは総合力を発揮して、地域の実態に合わせたさまざまな施策を通じて、地域農業を支えています。JA自己改革を通じて、農業者の所得増大をすすめることで、農業をより魅力あるものとしていきます。また、地域の農業を次世代につなぐために、労働力支援や経営管理支援、事業継承や新規就農の支援などを積極的に展開しています。

とりわけ、多くの国民にとって関心の高い「食」を切り口とし、農業・農村について理解を深める取り組みを進めます。支店や直売所を中心とした農業祭や農業体験、料理教室などのイベントなどにより、「食」の大切さや国産農畜産物の魅力、農業生産の営みなどを地域の皆さんに伝えていきます。地域の農畜産物を購入して食べる人、体験型農園や援農ボランティア制度を活用して農産物を実際に作る人など、農業振興の応援団を増やしています。

また、今年から、10月2日が「直売所(ファーマーズマーケット)の日」に制定され、JAとして生産者と消費者の架け橋になる直売所の活性化を進めています。

作って応援

- 体験型農園
- 直売所への出荷
- 援農ボランティア
- 家庭菜園



食べて応援

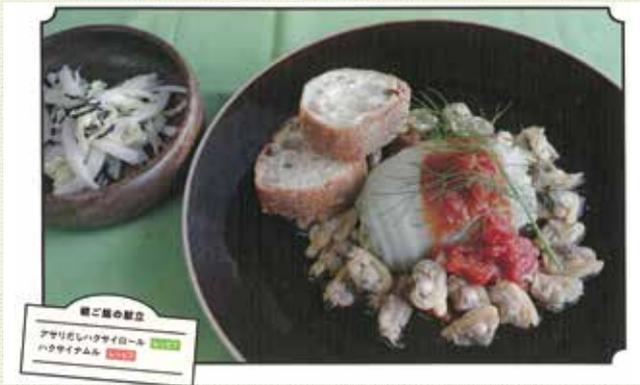
- 直売所で地元産農畜産物を購入
- 農業応援金融商品(農業応援貯金)
- 農業まつり、支店まつり
- 農業体験イベント
- 直売所でのイベント



耕そう、大地と地域のみらい。



今月の朝食に...



新ご膳の献立
アサリだしハクサイロール
ハクサイナムル

レシピ1
アサリだしハクサイロール

材料(4人分)

ハクサイの葉 (下ゆでした物) ... 大8枚
A豚ひき肉 ... 100g
タマネギみじん切り ... 1/2個分
おろしショウガ ... 小さじ1
塩・こしょう ... 適宜
アサリ ... 1パック
塩・こしょう ... 適宜
しょうゆ ... 大さじ1
みりん ... 大さじ1
水 ... 5カップ
トマト ... 大1個

作り方

- (1) Aを全てボウルに入れ粘りが出るまで混ぜ合わせ、4つに分け団子状に丸める。ゆでたハクサイの葉を交互に並べて肉団子を置き手前から巻いていき、つまようじで留め、ハクサイロールを作る。
- (2) 鍋に水、砂糖きしたアサリを入れ火にかけ、沸騰したらアサリを取り出しむき身にする。
- (3) (2)のアサリだししょうゆ・みりん・ハクサイロールを入れ中火で15分煮込み、塩・こしょうで味を調え、火から下ろす(1時間ほどなじませる)。
- (4) (3)を器に盛り付け、むき身にしたアサリと、熱湯に入れ皮をむきつぶしたトマトをあしらひ、ハーブ(材料外)とパケット(材料外)を加える。



レシピ2

ハクサイナムル

材料(4人分)

ハクサイの葉 ... 4枚
塩昆布 ... 大さじ2
塩・こしょう ... 適宜
ごま油 ... 適宜

作り方

- (1) ハクサイの葉は細切りにしてボウルに入れ、塩昆布と一緒にもみ込みなじませる。
- (2) ごま油、塩・こしょうで味を調え出来上がり。



《 年末年始営業のお知らせ 》

月 日	総務部 営農部 (本支所)	資材店舗 (本支所) 精米所	金融部		給油所	
			窓口	ATM	愛別SS	上川SS
12/28 (金)	通常業務					
12/29 (土)	休	業	業		8:00~ 17:00迄	8:00~ 18:00迄
12/30 (日)	休	業	業		8:00~ 17:00迄	8:00~ 18:00迄
12/31 (月) 【大晦日】	休	業	業		8:00~ 12:00迄	
1/1 (火) 【元日】	休	業				
1/2 (水)	休	業	業		9:00~ 16:00迄	
1/3 (木)	休	業	業		9:00~ 16:00迄	
1/4 (金)	休	業	9:30~ 16:30迄	8:45~ 18:00迄	9:00~ 16:00迄	
1/5 (土)	休	業	業		8:00~ 17:00迄	8:00~ 18:00迄
1/6 (日)	休	業	業		8:00~ 17:00迄	8:00~ 18:00迄
1/7 (月)	通常業務					
1/10 (木)	新年交例会のため全業務 16:00までとさせていただきます					